

帆船 日本丸／横浜市 海洋教室に親子で参加 ②
夏休みの貴重な思い出 参加者 15 人が帆船に宿泊

海洋教室の 2 日目

朝 6 時 30 分に起床。まだ眠く体が起きていない中、甲板に集合し、日本丸の体操で体を目覚めさせた。その後のヤシの実を使った甲板磨きでは、参加者は普段やることのない清掃方法に戸惑いながらも「わっしょい！わっしょい！」と大きな声を出し、一生懸命甲板を磨いた。

甲板清掃を終わらせ、朝食を取り、居室の整理をした後は、日本丸甲板上で展帆訓練や登しょう訓練（バウスプリット渡り）、真ちゅう磨きを体験した。

展帆訓練では、参加者全員で力を合わせ、ロープを引っ張り、帆を張った記念に参加者全員で記念撮影を行った。登しょう訓練では、最初は「怖くて無理」と言って渡れないでいた子どもが、勇気を出して先端まで行くと笑顔でピースをしていた。

日本丸船内で全ての訓練を終えた後、訓練センターで手旗訓練や結索訓練を体験、一人一つずつのナポレオンマットの作製に取り組んだ。

昼食休憩の後、村田船長から、練習船での訓練内容や練習船で訪れた海外の帆船との交流など、船長の実体験をもとにした講話が行われた。

参加者からは▽食事はどうしているのか▽女性の船員はいるのか一などの質問が出され、村田船長が丁寧に答えた。

閉講式では、参加家族の代表者に認定書の授与を行い、村田船長のあいさつに続き、浦関東地方支部長が「国の重要文化財に宿泊し、さまざまな体験ができたことは、とてもいい経験になったと思う。船員が少なくなると皆さんの生活にも影響が出るので、今回の体験を通じ、将来、職業選択肢の一つとして船員を目指してほしい」とあいさつした。

閉講式後に、参加者一人ひとりに記念品が手渡され、一泊二日の海洋教室は参加者全員の笑顔と思い出で、無事に終了した。

「海員だより」